

著者から ひと言

援助者として、ころをもった人間です。ですから、ネガティブな気持ちももてば、逆にポジティブすぎる気持ちも抱いたりもします。そうした“生きたころ”を基本としていないならば、援助者のころはバーンアウトしかねませんし、死んだ援助にもなりかねません。ただし、生きたころは、取扱注意の“生もの”ですので、きちんと認識し、クライアントの益に供する営みが必要とされるのです。

AIA 他者性の存在しない世界 —— 分離を許されぬ怒りの逆転移

怒りの逆転移から憐憫の情へ

Aは、私が彼女の要求に渋々応じて、彼女の問題を発達特性としてやりわり説明したところ、『わたしを障害者扱いするのか』と激怒し、私を責め立てました。それに対して私も、思わず腹を立て、『あなたが説明を求めたから答えたんでしょ』と声を荒げてしまいました。Aは席を離れて出ていき、私は自分が怒りの逆転移による行動化をしてしまったことを思い知ったのです。

ここまでが本書の第一部で述べたところですが、結局のところAは翌週もキャンセルせずに面接にやってきました。それで相変わらず『カウンセラーが怒っているのか』『カウンセラーとして失格だ』と、私を責め立てました。

私は、当初は、しつこい唾を売つけられたような気になっていましたが、そのうちにだんだんと、なにやらこのやりとりが可笑しくなってきました。すなわち、小さい子どもが親

181

巻末で5実例の「結末」&読み解き

著者から もうひと言

お伝えしたかったのは、「逆転移の活かし方とは、それを通して患者の理解に供するばかりでなく、その理解が彼らのこの世での生き方に、いかに寄与しうるか」である、という点です。……“この世の使い方”の射程は広がっています。……いずれにせよ、私たちのころは、病理的世界の理解とともに、ささやかながらも、この世での“棲み処”を見出すためにも使われたいものだと思うのです。

当チラシを見た方! 限定

著者関係者(研究会など)特別割引

15%引き

(2,875円—[税+送料]込み)

▼こちらからご購入ねがいます▼

<https://chiisago-kodachi.square.site/product/-/53>

QRから購入カートに進んでカード情報をご入力いただきその下部の【クーポン】欄に右の文字列をご入力ください—割引価格に変更されます

クーポン番号

lecture24-2



この例は、他所でもすでに何回か引用していますが、逆転移を検討するうえでわかりやすいので、ここに再びとりあげます。境界例として紹介されてきた三十代女性Aです。

あちこちの医療機関から受診拒否にあい、私のころに流れ着くように紹介されてきたのは、Aが三十代前半に達した頃でした。当時はまだ成人の「アスペルガー」という診断名はそれほど馴染み深いわけでもなく、Aも「境界例」ということで紹介されてきました。Aは、あちこちで対人トラブルを引き起こし、医療機関でも同じことをしつこく訴えたりクレームを付けたたりするので、体よく受診を断られていました。さらにAは、さまざまに人に頼っては依存関係を形成するも、話すことが毎度同じことの繰り返しになるので、相手からうっとうしがられ、しまいには説教される羽目に陥っていました。すなわち、つきつきに「接近しては関係が破綻する」パターンを繰り返していました。

巻頭で「逆転移」5つの実例を提示

本書の構成には、いささか趣向を凝らしました。すなわち、序章において、セラピーにおけるさまざまな「逆転移」の始まり方を記し、終章において、その「逆転移」が患者の内的世界をどのようにキャッチしていたのか、その「読み解き」を提示したのです。その間に、第一部・第二部で、洋の東西の分析的臨床家たちの「ころの使い方」を解説しました。こうした構成を採ったのは、臨床において「ころ」を使いながら、患者理解を図っていくのがどういふことなのか、その具体像を分析する「ころ」の臨床家に留まらず、知っていたら良かったからです。ですから、少々謎解きのような構成とし、推理小説的なテイストも加味して、読者の皆様に関心を持って読んでほしいと願っています。

この想は、編集者で木立の文庫の代表である津田さんと杯を酌み交わしながら、興が乗ってきたときにふと飛び出したアイデアです。韻筆から駒のような、いいアイデアになったのなら、幸いです。……

ですので本書は、序章の巻末を早めに知りたければ続けて終章を読んでいただいても構いません。

著者紹介

祖父江典人

(そぶえ・のりひと)

1957年、愛知県に生まれる。東京都立大学人文学部心理学学科卒。名古屋大学附属病院精神科経科教室にて心理研修生。国立療養所東尾張病院・厚生連安城更生病院に勤務後、愛知県立大学・愛知教育大学大学院教授。現在は、名古屋心理療法オフィスを主宰。